平成29年1月13日
東日本高速道路株式会社
関東支社

料金所入口ETCレーン発進制御バー開放運用について

平成27年10月14日に国土交通省が発表した「圏央道でETCバーを開放する実験を開始します。～ストレスのない『賢い料金所』の導入～」を受け、昨年度は圏央道の桶川北本 IC、狭山日高 IC 及び圏央鶴ヶ島 IC において、料金所入口ETCレーンの発進制御バー開放運用の試行を実施していましたが、今年度は茂原北 IC において、料金所入口ETCレーンの発進制御バー開放運用の試行を行うこととなりましたので、お知らせします。

1. 試行実施箇所及び実施期間

・圏央道　茂原北 IC　　入口ETCレーン　　平成29年1月20日（金）～3月20日（月）

※試行期間中、ETCレーンの発進制御バーは、開放したままとなります。

＊出口ETCレーンは、従来どおりの運用となります。

【ETCエラーが発生した場合】

・エラーが発生した場合も発進制御バーは開放したままですので、後続車両等に十分注意をはらい、安全を確認の上、レーンに設置されているインターフォンで係員に連絡し、係員の指示に従ってください。

・出口料金所ではETCレーンをご利用できませんので、係員のいる一般レーン又は混在レーン、料金精算機の設置レーンへ進み、その旨お申し出ください。

2. 参考

国土交通省記者発表資料

「圏央道でETCバーを開放する実験を開始します。～ストレスのない『賢い料金所』の導入～」

（http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000563.html）